

板前がいる町の酒場




日本の台所

DAISYO CORPORATION



<u>I. 2021／8月期第2四半期決算の概要</u>	2
1. 連結損益計算書(P/L)	
2. 新規出店・改装店実績	
3. 売上高の状況	
4. 販売費及び一般管理費の内訳	
5. 連結特別利益・特別損失の内訳	
6. 連結貸借対照表(B/S)	
7. 連結キャッシュ・フロー	
<u>II. 2021／8月期の経営戦略及び具体的施策</u>	11
<u>III. 通期連結業績予想について</u>	17



# I . 2021 / 8月期第 2 四半期 決算の概要

# 1. 連結損益計算書 (P/L)

(単位:百万円)

	2020/8月期 第2四半期実績		2021/8月期 第2四半期実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
<b>売上高</b>	29,218	100.0%	20,169	100.0%	▲9,049	—
売上原価	12,335	42.2%	11,779	58.4%	▲555	+16.2%
販売費及び一般管理費	16,908	57.9%	11,682	57.9%	▲5,225	+0.0%
<b>営業利益</b>	▲24	▲0.1%	▲3,292	▲16.3%	▲3,268	▲16.2%
営業外収益	121	0.4%	232	1.2%	111	+0.7%
営業外費用	32	0.1%	49	0.2%	16	+0.1%
<b>経常利益</b>	63	0.2%	▲3,110	▲15.4%	▲3,173	▲15.6%
特別利益	12	0.0%	430	2.1%	418	+2.0%
特別損失	258	0.9%	1,156	5.7%	898	+4.8%
<b>税引前当期純利益</b>	▲182	▲0.6%	▲3,836	▲19.0%	▲3,653	▲18.4%
法人税等	105	0.4%	59	0.3%	▲46	▲0.0%
法人税等調整額	▲55	▲0.2%	▲86	▲0.4%	▲31	▲0.2%
非支配株主に帰属する当期純利益	7	0.0%	▲1	▲0.0%	▲8	▲0.0%
<b>当期純利益</b>	▲240	▲0.8%	▲3,807	▲18.9%	▲3,567	▲18.1%

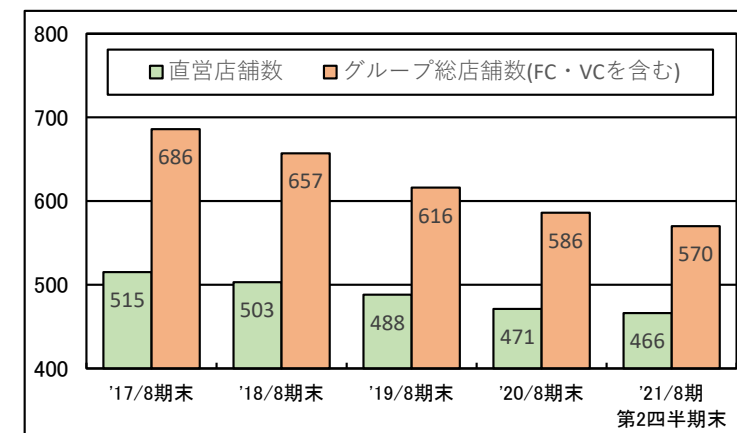
- 売上高 ⇒ 前年比69.0%。新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食事業 ▲11,650百万円  
⇒ グループ外部取引先への食材等卸売の増加により、卸売事業 +2,906百万円
- 売上原価 ⇒ 原価率の高い運送及び卸売事業の売上構成比率が上がっているため、原価率は上昇
- 販売費及び一般管理費 ⇒ 臨時休業期間及び営業時短中に発生した店舗運営に係る固定費1,130百万円を特別損失へ計上

※ 新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金及び感染拡大防止協力金の未申請分 1,120百万円

※ 特別利益・特別損失については8ページご参照

## 2. 新規出店・改装店実績

	2021/8月期 第2四半期
新規出店	2
店舗改装	2
閉店	7



### 業態別明細

	'20/8月期 店舗数	新規出店		改装	業態転換による改装		閉店	'21/8月期 第2四半期 店舗数	前期 増減
			うちFC から譲受		増加	減少			
庄や	170		1				▲3	168	▲2
日本海庄や	54							54	0
大庄水産	41			1				41	0
とり家 ぬび寿	24							24	0
満天酒場	16	1						17	+1
築地日本海	16						▲1	15	▲1
やるき茶屋	12							12	0
RUMP CAP	12							12	0
塩梅	9			1				9	0
呑兵衛	9							9	0
築地寿司岩	9						▲1	8	▲1
羊肉酒場 悟大	8							8	0
カラオケ業態	50							50	0
その他業態	41						▲2	39	▲2
直営店舗計	471	1	1	2	0	0	▲7	466	▲5

### 3. 売上高の状況

#### (1) 既存店売上高（対前年比）

##### <前年比実績推移表>

	'19/8月期	'20/8月期	9月	10月	11月	12月	1月	2月	'21/2月期 累計	3月
売上高	100.1%	66.6%	56.2%	65.5%	57.6%	41.3%	30.9% (38.4%)	37.5% (50.0%)	47.5%	71.3% (75.7%)
客数	100.1%	68.4%	61.6%	70.0%	64.3%	49.8%	39.2% (48.2%)	46.5% (60.4%)	55.0%	79.0% (84.6%)
客単価	100.0%	97.3%	91.3%	93.6%	89.6%	83.0%	78.8% (79.7%)	80.7% (82.8%)	86.4%	90.3% (89.5%)

- 12月は新型コロナウイルス感染者数が増加し、忘年会等自粛の影響を受け、対前年比41.3%
- 1月7日「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言」発出により、翌8日より時短営業及び一部臨時店休を実施  
3月より休業店舗は順次営業再開し、時短営業は継続
- 1～3月の実績について、臨時休業を実施した店舗の実績を除いたものを( )内に表示

##### <カテゴリー別前年比実績>

	昼	宴会	夜フリー	'21/2月期 累計
売上高	71.2%	7.0%	48.1%	47.5%
客数	70.8%	7.1%	50.8%	55.0%
客単価	100.7%	98.0%	94.6%	86.4%

##### <カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
2019/2月期累計	16.2%	12.4%	71.4%
2020/2月期累計	17.2%	11.3%	71.5%
2021/2月期累計	25.4%	1.6%	73.0%
比率差異	+8.2%	▲9.7%	+1.5%

### 3. 売上高の状況

#### (2) セグメント別売上高の状況

(単位:百万円)

	2020/8月期 第2四半期実績		2021/8月期 第2四半期実績		増減額	
		構成比		構成比		比率差
飲食事業	22,174	75.9%	10,524	52.2%	▲11,650	▲23.7%
卸売事業	2,001	6.9%	4,908	24.3%	2,906	+17.5%
不動産事業	606	2.1%	559	2.8%	▲46	+0.7%
フランチャイズ事業	212	0.7%	137	0.7%	▲75	▲0.0%
運送事業	3,991	13.7%	3,860	19.1%	▲130	+5.5%
その他	232	0.8%	178	0.9%	▲53	+0.1%
合計	29,218	100.0%	20,169	100.0%	▲9,049	—

- 飲食事業及びフランチャイズ事業は、新型コロナウイルス感染症に伴う自粛要請等による営業時間短縮及び店休の実施等が影響
- 卸売事業はグループ外部取引先への食材等卸売が増加

## 4. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

	2020/8月期 第2四半期実績		2021/8月期 第2四半期実績		増減額	
		対売上比率		対売上比率		比率差
人件費	9,171	31.4%	5,612	27.8%	▲3,559	▲3.6%
地代家賃	2,859	9.8%	2,359	11.7%	▲500	+1.9%
水道光熱費	1,209	4.1%	773	3.8%	▲436	▲0.3%
減価償却費	717	2.5%	636	3.1%	▲80	+0.6%
消耗備品費	585	2.0%	452	2.2%	▲133	+0.2%
衛生費	369	1.3%	229	1.1%	▲139	▲0.2%
販促・広宣費	414	1.4%	121	0.6%	▲293	▲0.8%
その他	1,580	5.4%	1,496	7.4%	▲84	+2.0%
販売費及び一般管理費	16,908	57.9%	11,682	57.9%	▲5,225	+0.0%
営業利益	▲24	▲0.1%	▲3,292	▲16.3%	▲3,268	▲16.2%

- 臨時休業期間及び営業時短中に発生した店舗運営に係る固定費を特別損失へ計上
- コロナ禍における家賃減額交渉、効率的な販促ツールの利用など諸経費全般に亘り削減



## 5. 連結特別利益・特別損失の内訳

### ▶ 特別利益

(単位:百万円)

	2020/8月期 第2四半期	2021/8月期 第2四半期	増 減	備 考
雇用調整助成金	—	0	0	休業期間における休業手当の助成 (未申請分490百万円)
受取補償金	10	97	87	開発に伴う立退等の補償
固定資産売却益	2	1	▲1	
新型コロナウイルス感染拡大防止協力金	—	331	331	各自治体の営業時間短縮に対する協力金 (未申請分630百万円)
<b>特別利益</b>	12	430	418	

### ▶ 特別損失

	2020/8月期 第2四半期	2021/8月期 第2四半期	増 減	備 考
新型コロナウイルス感染症による損失	—	1,130	1,130	臨時休業及び時短期間の店舗運営に係る固定費
減損損失	163	14	▲148	店舗閉鎖等に係る設備資産等の減損処理
固定資産除却損	57	2	▲55	
固定資産売却損	2	—	▲2	
店舗関係整理損	18	8	▲9	
固定資産圧縮損	11	—	▲11	
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4	—	▲4	
<b>特別損失</b>	258	1,156	898	

# 6. 連結貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)

	2020/8月期	2021/8月期 第2四半期	増減額
流動資産	14,468	10,870	▲3,597
現預金	11,173	7,456	▲3,717
売掛金	1,733	1,707	▲26
棚卸資産	661	644	▲16
その他	899	1,062	163
固定資産	26,316	24,970	▲1,345
有形固定資産	15,183	14,647	▲536
無形固定資産	1,435	2,142	706
敷金・保証金	8,467	7,860	▲606
繰延税金資産	34	32	▲1
その他	1,194	287	▲907
繰延資産	15	13	▲1
資産合計	40,799	35,855	▲4,944


	2020/8月期	2021/8月期 第2四半期	増減額
有利子負債	15,326	14,840	▲485
現預金	11,173	7,456	▲3,717
NET有利子負債	4,152	7,384	3,232
自己資本比率	39.5%	34.1%	▲5.5%
有利子負債依存度	37.5%	41.4%	+3.8%

	2020/8月期	2021/8月期 第2四半期	増減額
負債合計	24,666	23,644	▲1,021
買掛金	1,324	1,062	▲262
未払金	1,613	1,480	▲132
借入金(長短)	14,511	14,090	▲420
社債	815	750	▲65
リース債務	644	596	▲48
資産除去債務(長短)	1,233	1,252	19
賞与引当金	376	353	▲23
役員退職慰労引当金	182	160	▲21
その他	3,965	3,898	▲67
純資産合計	16,133	12,210	▲3,922
株主資本	15,977	12,170	▲3,807
資本金	100	100	—
資本剰余金	18,740	14,794	▲3,946
利益剰余金	▲2,612	▲2,473	138
自己株式	▲250	▲250	▲0
その他包括利益累計額	152	38	▲113
非支配株主持分	2	1	▲1
負債・純資産合計	40,799	35,855	▲4,944

# 7. 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2020/8月期 第2四半期	2021/8月期 第2四半期	増減額
<b>1. 営業活動CF</b>	1,219	▲3,617	▲4,836
税引前当期純利益	▲182	▲3,836	▲3,653
減価償却費	769	712	▲56
減損損失	163	14	▲148
投資有価証券売却損益	—	▲125	▲125
有形固定資産売却損益	0	▲1	▲1
有形固定資産除却損	57	2	▲55
各種引当金純増減額	135	▲43	▲178
売上債権の増減額	205	26	▲178
仕入債務の増減額	▲284	▲262	21
新型コロナウイルス感染症による損失	—	1,130	1,130
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	—	▲1,046	▲1,046
その他営業CF	354	▲188	▲542
<b>2. 投資活動CF</b>	▲633	438	1,072
有形固定資産の取得による支出	▲578	▲179	398
有形固定資産の売却による収入	0	18	17
無形固定資産取得による支出	▲35	▲792	▲756
投資有価証券取得による支出	—	▲332	▲332
投資有価証券売却による収入	—	1,206	1,206
敷金・保証金の差入・回収純増減額	125	558	433
その他投資CF	▲145	▲40	105
<b>※ フリーキャッシュ・フロー</b>	(585)	(▲3,178)	(▲3,763)
<b>3. 財務活動CF</b>	▲1,804	▲538	1,266
長短借入金の純増減額	▲1,537	▲420	1,117
社債の純増減額	▲65	▲65	—
リース債務の返済支出	▲29	▲52	▲22
配当金の支払額	▲167	▲0	167
その他財務CF	▲4	▲0	4
<b>4. 現金及び現金同等物の増減額</b>	▲1,219	▲3,717	▲2,497



## Ⅱ. 2021／8月期の 経営戦略及び具体的施策

### コロナ禍における当社の基本方針

- 「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、以下の基本方針にこだわり事業運営を行う
  - ① 「利他の心」を持って、誠実な店舗運営・業務運営に努める
  - ② 人材育成に引き続き力を入れると共に、従業員の雇用を守りぬく
  - ③ 「日本の台所」としての役割を果たすと共に、日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献する

### 1. 新型コロナウイルス感染拡大に対する対応

- 1月7日及び13日に政府が緊急事態宣言を発出
  - 各自治体の営業時短要請に従い、1月8日以降、時短営業（～20:00迄）を実施
    - ⇒ 一部店舗においては、状況に応じて臨時休業（最多で全体の3割程度）
    - ⇒ 3月以降、一部店舗を除き営業再開、その後も各自治体の要請に従い時短営業を継続
  - 店舗での新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底
    - ⇒ お客様用の手指消毒用アルコールの設置
    - ⇒ 従業員のフェイスシールド、マスク着用、手洗い徹底、店内換気の徹底
    - ⇒ 店舗の衛生管理の徹底
  - 雇用調整助成金、感染拡大防止協力金の活用



## 2.事業ポートフォリオの抜本的な見直し

### (1) デリバリー／テイクアウト事業の拡大

- ◎ ウーバーイーツを活用し、各種専門業態のノウハウを活かしたメニュー提供を拡充  
⇒ 当社ならではの手作りメニューを、確かな食材でしっかりした衛生管理のもと提供
- ◎ 人気ユーチューバーMAX鈴木さんとのコラボ店舗『背脂飯店』  
⇒ 1月29日の開始後、好評を頂いておりデリバリー事業の売上増に寄与  
⇒ ユーチューブを利用したさらなるPR活動の強化、新メニューの開発に着手
- ◎ その他新メニューの導入 ～「究極の食パンMIYABI」等
- ◎ 「出前館」での出店も開始、拡充していく
- ◎ テイクアウト事業  
⇒ インターネットでの事前予約システム導入を進めており、利便性向上で利用者の増加を図る



### (2) 外販事業・物流機能の強化継続

- ◎ 飲食店等のあらゆるニーズにワンストップでお応えする「総合支援プラットフォーム」として、機能強化・業容拡大を図る  
⇒ コロナ禍において活況であるスーパーや量販店等の小売店への販売を拡大強化  
～ 大手スーパー(ヨークマート)等との取引強化  
⇒ 小規模の外食事業者へも対応できるよう、物流形態を整え、販売先を拡大  
⇒ 取引先の財務状況の精査を徹底
- ◎ 顧客ニーズに合わせて商品取り揃えるが、物流庫内にて在庫管理を徹底し過剰在庫を抑制



### 2. 事業ポートフォリオの抜本的な見直し

#### (3) カラオケ事業の譲渡

- 食を主体とする事業への経営資源の集中及び雇用維持の観点を踏まえ、譲渡を決定
- 当社の展開するカラオケ業態「歌うんだ村」「ファンタジー」等の運営を譲渡(譲渡期日:4月30日予定)

### 3. 営業施策・店舗政策

#### (1) 出店・改装・閉店計画

- 長期化しているコロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら柔軟に検討
- 各店舗別に踏み込んだ見直しを行い、スピード感を持って「スクラップ&ビルド」を推進

#### (2) 店舗業態戦略

- 庄や、日本海庄やのリブランディングの継続 ~創業以来の大衆割烹路線は維持
- 「お魚総本家」への業態変更 ⇒ 「池袋西口店」に続き、2号店「アスティ静岡店」 4月26日 OPEN
- 「巣ごもり食堂」 ⇒ 1号店「ヤマダ電機LABI1池袋店」 3月22日OPEN
  - ⇒ 真心のこもった手作りの定食を提供
    - ~当社強みの新鮮な刺身や魚介類、手作りハンバーグ等
  - ⇒ 女性や家族が利用しやすい明るい店内
  - ⇒ 低価格で大衆向けの『ディープな定食屋』も準備中
    - ~地域に根づいたぬくもりのある『めし処』
- その他新業態開発中
  - ⇒ モバイルオーダーの導入。人のぬくもりを重視した接客の一方で、合理化と接触の低減を図る



### 3. 営業施策・店舗政策

#### (3) 店舗サービス対応

- ◎ 少人数のグループを、一組一組いかに満足度高く、クオリティー高くおもてなしできるかが重要
- ◎ ランチの強化  
⇒ランチ営業店舗の増加、メニューの充実等

#### (4) デジタルマーケティングの強化

- ◎ 引続き各種SNS等を使用した対外発信を継続  
⇒大庄オリジナルのユーチューブチャンネル開設を検討

### 4. 経費削減への取組み

- ◎ 株主優待制度の内容変更 … 特産品提供の取り止め、飲食券の枚数増加及び有効期限の見直し  
⇒仕入・配送費用の削減、飲食券利用の増加による売上効果を見込む
- ◎ 原価率の低減 … 仕入ロットを縮小化、ロス管理の徹底、メニュー構成の作成、買付け機能・購買力の強化
- ◎ 人件費/人材施策 … 店舗及び本社人員の再配置、  
雇用維持とスキルアップを同時に図れる関係会社等への出向の導入
- ◎ 地代家賃 … 店舗・不動産の賃料減額及び保証金一部返還交渉の継続
- ◎ その他 … 手数料や通信費等の値下げや契約見直し、店舗システム入替えによるシステム関連費用の削減  
AI・IOTを活用した抜本的な業務効率化推進、間接部門のコンパクト化 等



### 5. 財務・資金面について

- ① 自己資本の状況 (連結ベース)
  - 2020/8月末 161億円(自己資本比率39.5%)
  - 2021/2月末 122億円( " 34.1%)
    - ⇒ 当期純損失により打撃は受けているが、まだ企業体力は相応にある
    - ⇒ 感染拡大防止協力金・雇用調整助成金 未申請分 11.2億円(2月迄相当分)
- ② 資金面
  - 2021/2月末時点 連結ベース75億円の現預金を確保
  - シンジケート型コミットメントライン契約を3月末に締結
    - ⇒ 来期まで見据えた安定資金の確保が目的。組成金額 52億円(期間1年)
- ③ 保証金の適正化
  - 2021/2月末時点 連結ベース 保証金・敷金78億円
    - ⇒ 前期末対比▲6億円 一部返還交渉継続中
- ④ カラオケ事業売却
  - カラオケ事業売却による資金効果 約15億円(保証金戻り含む)

### 6. その他

#### ① SDGs(持続可能な開発目標)への貢献のための取組み

- 現状、当社が取組んでいる主なテーマ



・安心安全な食材  
・禁煙・分煙化



・社内研修の充実



・人事制度の充実  
・独立制度の促進



・リサイクルへの取組み

⇒ 今後も新たな目標・テーマを模索しつつ取組んでいく

#### ② 設立50周年(2021年11月)に向けて

- 新型コロナウイルスによる未曾有の危機は続いているが、世の中の状況の変化に柔軟に対応しつつ、企業価値の維持・向上に努めたい



## Ⅲ. 通期連結業績予想について

### Ⅲ. 通期連結業績予想について

(単位:百万円)

	2021/8月期 上期実績	2021/8月期 下期計画	2021/8月期 通期計画	2020/8月期 実績	前年実績 増減
売上高	20,169	20,231	40,400	44,827	▲ 4,427
営業利益	▲ 3,292	▲ 2,618	▲ 5,910	▲ 3,311	▲ 2,599
経常利益	▲ 3,110	▲ 2,630	▲ 5,740	▲ 3,253	▲ 2,487
当期純利益	▲ 3,808	▲ 512	▲ 4,320	▲ 6,308	1,988

#### ①売上高

- ・3月迄の足許実績をベースに、作成時点での情報や予測に基づき策定
- ・6月迄時短営業が継続される事を想定
- ・デリバリー、テイクアウト事業、外販事業の拡大継続

#### ②原価・販管費

- ・引続き各種経費削減の取組み影響を織込む ～店舗原価率の低減、賃料減額交渉他、各種経費削減

#### ③特別損益

- ・感染拡大防止協力金、雇用調整助成金の下半期での想定金額を特別利益に計上  
(実質2月迄相当分の1,120百万円を含む)

#### ④その他

- ・カラオケ事業の事業譲渡による影響額を織込む

**【将来見通しに関する注意事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先****担当部：株式会社大庄 IT・経営企画部****電話：03-5764-2229****FAX：03-5764-2237**